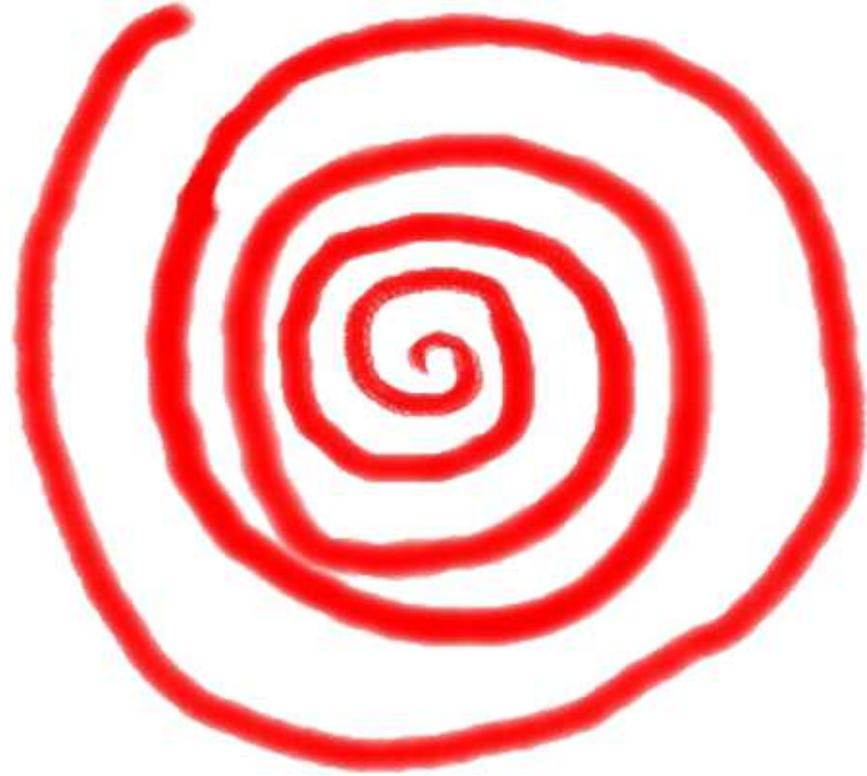


終わりのない物語



東郷 潤

あるところに、正義を愛する、立派なお猿さんが住んでいました。彼は、毎日、あちこちパトロールしてどんな小さな悪も見逃しません。—全ての悪と戦う、本当のヒーローなのです！！



ほら、胸には勲章がいっぱい飾ってあるでしょう！？

ある日、お猿さんがパトロールしていると、誰かが誰かを殺しているところを見つけました。



もちろん、人殺しは悪いことです。



悪者が図々しく言い訳をしようとしています。でも、正義を愛するお猿さんは、悪人には騙されません！

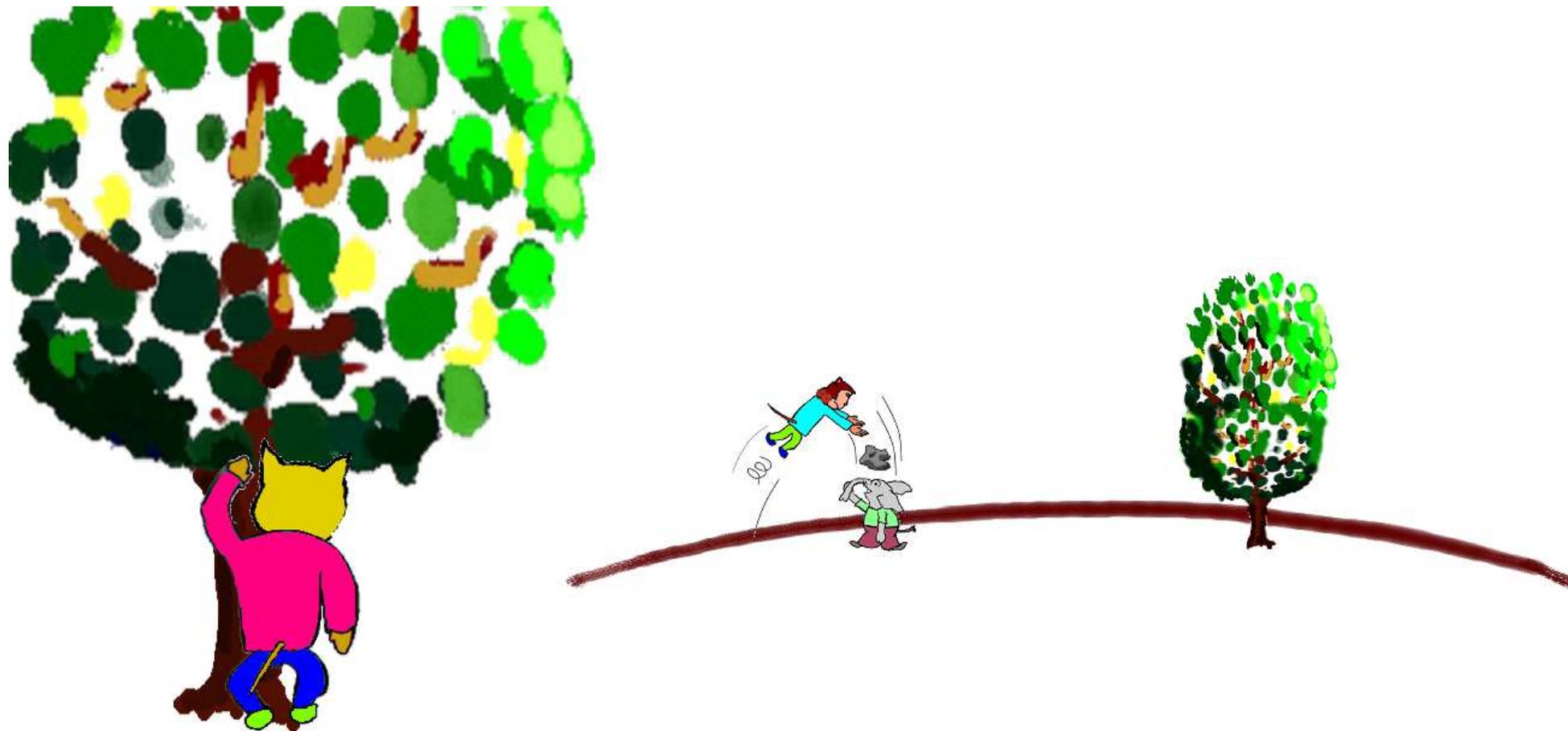


お猿さんは、命がけて戦って、ついに悪者をやっつけました。

さて、近くの村には、やはり善を愛し悪を憎む、立派な猫さんが住んでいました。彼は、殺された猫さんの親戚です。親戚が殺されてから、彼はますます悪を憎み、正義を愛するようになっていました。



ある日、猫さんがパトロールしていると、誰かが誰かを殺しているところを見つけました。



ついに彼は人殺しを見つけたのです！！

こら！ 貴様、人殺しだな！



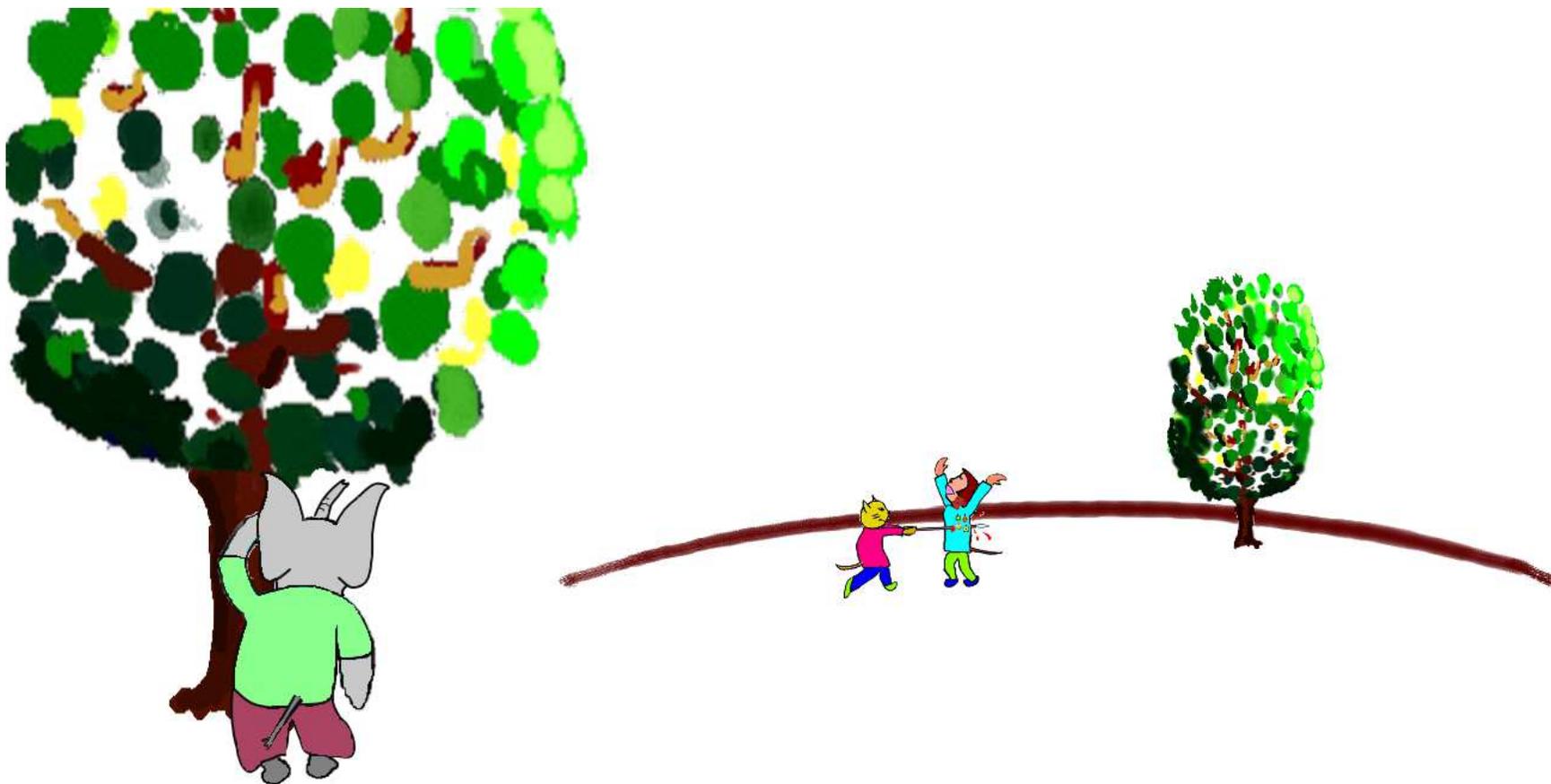
ま、待ってくれ。
俺は悪くないんだ

まあ、なんという悪者でしょう！？ 人を殺して、自分が悪くないなんて！！



勇敢な猫さんは、正義のために、命がけで悪者をやっつけました。

誰かが誰かを殺しています。



…それを、象さんが見かけました。この象さんも、悪を憎む、とても立派な人でした。

彼は、殺された象さんのお友達です。お友達を殺されてから、象さんは、前よりいっそう激しく悪人を憎むようになっていました。



まあ、なんという悪人でしょう。悪を憎む立派な象さんに向かって、悪人の味方か？だなんて。



正義を愛する象さんは、もちろん、勇敢に、悪者をやっつけました！！

誰かが誰かを殺しています。



…それを、お猿さんが見かけました。このお猿さんも、悪を憎む、とても立派な人でした。

彼は、殺されたお猿さんのお友達です。お友達を殺されてから、お猿さんは、前よりいっそう激しく悪人を憎むようになっていました。

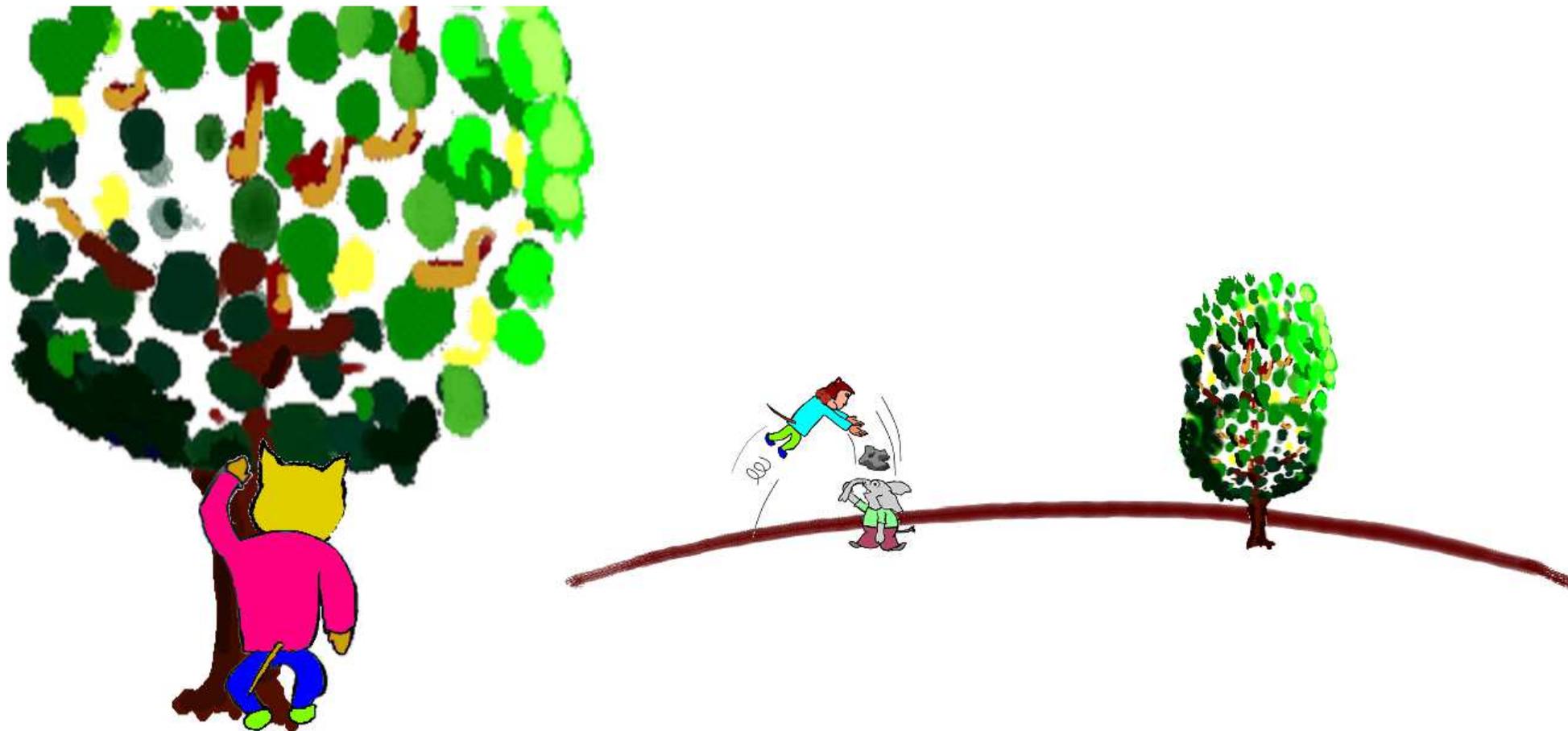


悪者が図々しく言い訳をしようとしています。でも、正義を愛するお猿さんは、悪人には騙されません!



お猿さんは、命がけで戦って、ついに悪者をやっつけました。

誰かが誰かを殺しています。



…それを、猫さんが見かけました。この猫さんも、悪を憎む、とても立派な人でした。

彼は、殺された猫さんのお友達です。お友達を殺されてから、猫さんは、前よりいっそう激しく悪人を憎むようになっていました。

A thick red spiral graphic that starts from the center and winds outwards, forming approximately five concentric loops. The spiral is centered on the page and frames the text.

P.8へお戻りください

あとがき —絵本「終わりの無い物語」

絵本「終わりの無い物語」は、善悪の錯覚が引き起こす憎しみの連鎖／暴力の連鎖をテーマとしています。

善悪という考え方を巡っては、これ以外にも、本当に多くの錯覚が存在しています。そして、それらの錯覚は様々な悲劇を育む土壌となり、結果的に、億単位の人々が犠牲になっているのです（詳細は弊著「善悪中毒」、WEB本「原爆への復讐」、私どもの平和の絵本集をご参照ください）。

そうした悲劇を地球上から少しでも減らすことを目的に、本絵本「終わりの無い物語」を執筆しました。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org